

2016年2月16日

就職みらい研究所

株式会社 リクルート キャリア

就職白書2016 - インターンシップ編 -

株式会社リクルートキャリア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳川 昌紀）のよりよい就職・採用の在り方を追求するための研究機関・就職みらい研究所（所長：岡崎 仁美）は、企業および学生のインターンシップの実施や参加の状況を明らかにするため、全国の新卒採用を実施している企業と、就職活動を行った2016年卒業の大学4年生・大学院2年生を対象に、調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【インターンシップの実施状況】＜企業＞

- 新卒採用を実施している企業のうち、2015年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業は59.5%と、2014年度の49.9%より9.6ポイント増加した。また、2016年度に実施予定の企業は61.1%と、2015年度よりも1.6ポイント増加する見通しである。

【2016年卒学生のインターンシップへの参加状況】＜学生＞

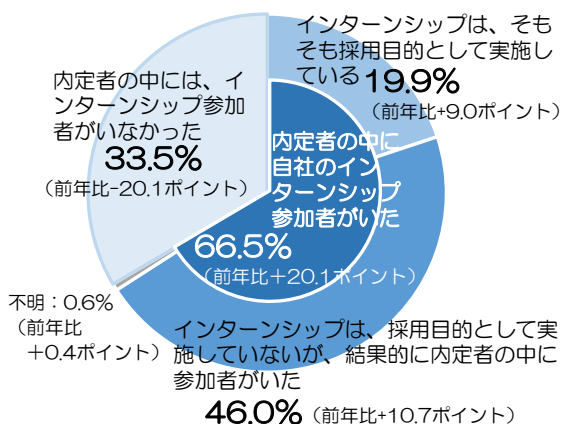
- 2016年卒学生のうち、インターンシップ参加者は39.9%と、2015年卒よりも13.0ポイント増加した。

【内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップ参加企業への入社状況】

- 企業の2016年卒の内定者の中に、インターンシップ参加者がいたかどうかについて、参加者がいたのは66.5%で、前年よりも20.1ポイント増加。また、そもそも採用目的として実施しているのは19.9%と、前年よりも9.0ポイント増加した。
- インターンシップ参加学生の20.4%が、インターンシップ参加企業に入社予定である。参加企業ではないが、同業種の企業に入社予定は24.9%で、合わせて45.3%がインターンシップに参加した業種へ、入社予定となった。

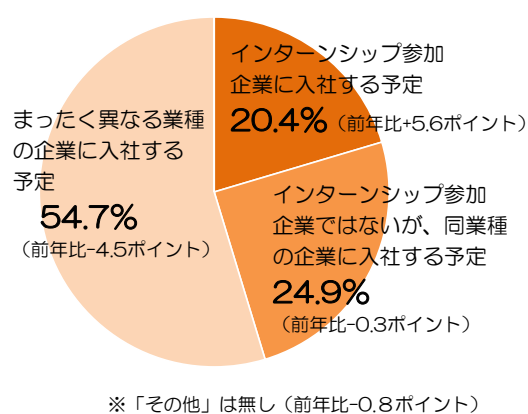
＜企業＞

■内定者のインターンシップ参加状況
(インターンシップ実施企業/単一回答)



＜学生＞

■インターンシップ参加企業への入社予定状況
(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートキャリア 広報部 社外広報グループ
Mail: kouho@waku-2.com

【目次】

調査概要	2
I. インターンシップの実施状況<企業>	3~8
1) 実施状況	3
2) 実施期間	3
3) 前年と比較した際の変更および変更予定状況	4
4) 実施目的と成果	5
5) 実施における苦労や懸念点	6
6) 実施対象	6
7) 受け入れ部門／プログラム内容／指導担当者	7
8) 参加者への評価等のフィードバック状況	7
9) インターンシップ選考と採用選考基準の相違／選考方法	8
II. 2016年卒の学生のインターンシップへの参加状況<学生>	9~13
1) 参加状況／参加社数	9
2) 参加期間／プログラム内容	10
3) 参加目的／インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと	11
4) 参加してよかったと思う点／参加しなかった理由	12
5) インターンシップでの報酬等の支給状況	13
III. 内定者のインターンシップ参加状況<企業・学生>	14~15
1) 内定者のインターンシップ参加状況、 インターンシップ参加企業への入社予定状況	14

【調査概要】

今回調査：就職白書2016

【企業調査】

2016年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
 調査方法：郵送法
 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業4,050社
 調査期間：2015年12月24日～2016年1月28日
 回収社数：1,260社（回収率31.1%）

【学生調査】

2016年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する
 調査方法：WEBアンケート
 一調査協力：株式会社インテージ
 調査対象：インテージ社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女を対象
 調査期間：2016年1月5日～2016年1月19日
 集計対象：2,146人

前回調査：就職白書2015

【企業調査】

2015年卒（大学生・大学院生）の採用活動振り返り調査

調査目的：新卒採用に関する企業の活動実態を把握する
 調査方法：郵送法
 調査対象：全国の新卒採用を実施している従業員規模5人以上の企業3,989社
 調査期間：2014年12月13日～2015年1月29日
 回収社数：1,184社（回収率29.7%）

【学生調査】

2015年卒（大学生・大学院生）の就職活動振り返り調査

調査目的：就職に関する学生の活動実態を把握する
 調査方法：WEBアンケート
 一調査協力：株式会社インテージ
 調査対象：インテージ社のモニターにスクリーニング調査を行い、民間企業を対象に就職活動を行った全国の大学4年生・大学院2年生の男女を対象
 調査期間：2015年1月5日～2015年1月14日
 集計対象：2,539人

《集計方法について》

■学生調査

大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体の構成比が実際の母集団に近づくよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。大学生と大学院生を合わせた学生全体については、大学生と大学院生の構成比に関して、同様のウェイトバック集計を行ったため、大学生と大学院生の合計値が、学生全体の値と一致しない。

《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。
- 図表の一部で、今回調査と前回調査のポイント差をカッコ内に記載した。
例：14.2%（-6.7）の場合、前回調査より6.7ポイント減少

《地域区分の内訳》

関東＝茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
 中部＝新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
 近畿＝三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
 その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外

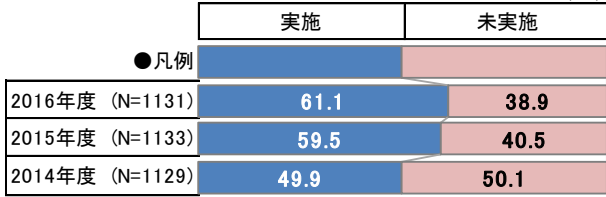
《その他》

- 年度は、4月から翌年3月までとしている。

1) 実施状況

新卒採用を実施している企業のうち、2015年度にインターンシップを実施した（予定含む）企業は59.5%と、2014年度の49.9%より9.6ポイント増加した。また、2016年度に実施予定の企業は61.1%と、2015年度よりも1.6ポイント増加する見通しである。

■ インターンシップの実施（予定）状況（全体／単一回答）（%）



※今回調査の、2014年度および2015年度、2016年度に関する回答結果を集計

※2015年度および2016年度は、調査時点以降の予定を含めた回答

□ 従業員規模および業種、地域別インターンシップの実施（予定）状況（%）

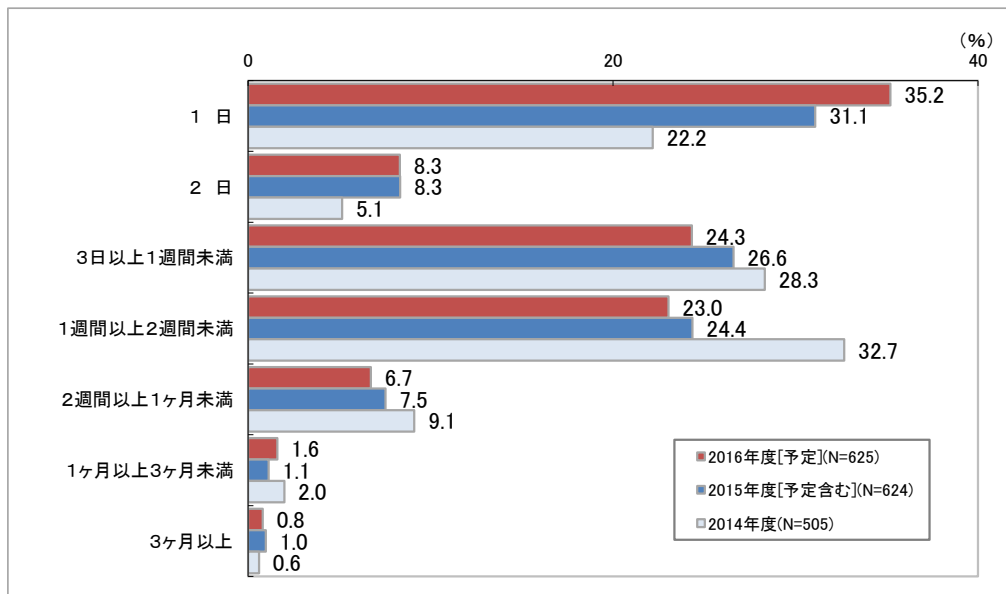
	2014年度		2015年度		2016年度		
	N	実施率	N	実施率	N	実施率	
全体	1129	49.9	1133	59.5	1131	61.1	
従業員規模	300人未満	270	32.6	269	40.1	272	41.5
	300～999人	415	48.9	419	59.2	416	60.8
	1000～4999人	350	58.6	351	69.8	351	70.9
	5000人以上	94	71.3	94	77.7	92	82.6
業種	建設業	97	55.7	96	63.5	96	63.5
	製造業	392	47.7	397	57.7	395	59.2
	流通業	231	46.8	229	59.4	229	62.0
	金融業	112	65.2	112	70.5	112	69.6
	サービス・情報業	297	47.5	299	56.5	299	58.9
地域	関東	473	48.0	478	60.9	479	60.8
	中部	216	50.0	214	60.3	215	62.8
	近畿	179	48.6	180	53.9	177	56.5
	その他地域・計	261	54.0	261	60.2	260	63.5

2) 実施期間

【2014～2016年度いずれかの年度で実施】

2014～2016年度いずれかに、インターンシップを実施した企業に、インターンシップの実施期間（主なもの）を尋ねると、2014年度では「1週間以上2週間未満」、2015年度では「1日」、2016年度（予定）では「1日」が最も多い。

■ インターンシップの実施期間（各年度のインターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 各年度単一回答）



※データは無回答サンプルを除いて集計

※従業員規模、業種、地域の不明・無回答企業があるため、規模別、業種別、地域別の計と全体は一致しない

3) 前年と比較した際の変更および変更予定状況

【2014～2016年度いずれかの年度で実施】

2014～2016年度にインターンシップを実施または実施予定の企業において、2014年度と比べた2015年度の変更状況について見る。

まず、2015年度について見ると、2014年度と比較して「同じ」が多いものの、「受け入れ人数」では43.2%、「回数」では35.7%、「内容」では36.5%、「時期」では30.2%が、それぞれ「増やした」または「変更した」と回答している。次に2016年度について見ると、「受け入れ人数」で35.3%、「回数」で30.5%が「増やす予定」と回答している。

■2014年度と比べた2015年度の変更状況、および、2015年度と比べた2016年度の変更予定状況
(インターンシップ実施企業[実施予定含む]／それぞれ単一回答)

※「参考)2014年度」は前回調査。2013年度と比べた2014年度の変更状況

【受け入れ人数】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2016年度	(N=632)	35.3	63.1	1.6
2015年度	(N=526)	43.2	51.7	5.1
参考)2014年度	(N=454)	43.8	52.6	3.5

【対象者】(広げた/広げる予定)

		(%)		
		広げた	同じ	絞った
●凡例				
2016年度	(N=631)	19.0	79.1	1.9
2015年度	(N=527)	22.6	73.8	3.6
参考)2014年度	(N=452)	25.7	71.7	2.7

【期間】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2016年度	(N=629)	18.9	77.9	3.2
2015年度	(N=525)	20.6	71.2	8.2
参考)2014年度	(N=454)	22.5	72.0	5.5

【回数】(増やした/増やす予定)

		(%)		
		増やした	同じ	減らした
●凡例				
2016年度	(N=626)	30.5	66.8	2.7
2015年度	(N=526)	35.7	60.8	3.4
参考)2014年度	(N=454)	37.7	60.8	1.5

【内容】(変更した/変更する予定)

		(%)	
		変更した	同じ
●凡例			
2016年度	(N=625)	28.2	71.8
2015年度	(N=524)	36.5	63.5
参考)2014年度	(N=454)	38.8	61.2

【時期】(変更した/変更する予定)

		(%)	
		変更した	同じ
●凡例			
2016年度	(N=626)	21.6	78.4
2015年度	(N=526)	30.2	69.8
参考)2014年度	(N=453)	28.7	71.3

※データは無回答サンプルを除いて集計

4) 実施目的と成果

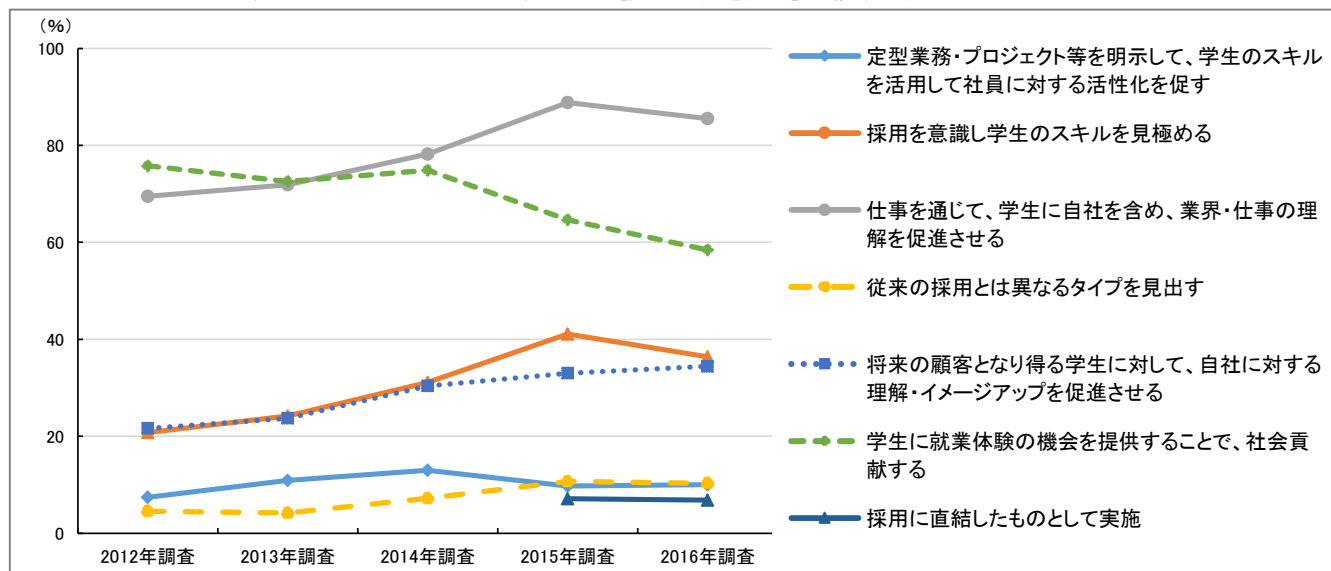
【当該年度のいずれかの年度で実施】

インターンシップを実施（予定も含む）した企業の実施目的は、2016年度では「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」（85.5%）が最も多く、次いで「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」（58.4%）であった。

目的に対しての成果を見ると、「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」（81.5%）に次いで「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」（51.0%）であり、目的と同順であった。

実施目的について2012年調査より経年で見ると、2013年調査を境に、「学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する」と「仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる」が逆転している。

■ インターンシップの実施目的（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）



*「その他」「特に目的を設定していない」は、グラフでは割愛。下記の表組を参照。

□ インターンシップの実施目的（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

	N	定型業務・プロジェクト等を明示して、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す	採用を意識し学生のスキルを見極める	仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる	従来の採用とは異なるタイプを見出す	将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる	学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する	採用に直結したものとして実施	その他	特に目的を設定していない
2016年調査	717	10.0	36.4	85.5	10.3	34.4	58.4	6.8	3.5	0.7
2015年調査	645	9.8	41.1	88.8	10.7	33.0	64.7	7.1	2.8	0.3
2014年調査	569	13.0	31.1	78.2	7.2	30.4	74.9		3.9	1.1
2013年調査	430	10.9	24.2	71.9	4.2	23.7	72.6		5.3	
2012年調査	351	7.4	20.8	69.5	4.6	21.7	75.8		5.4	

*「特に目的を設定していない」は、2014年調査より追加。

*「採用に直結したものとして実施」は、2015年調査より追加。

■ インターンシップの実施目的に対する成果（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

	N	定型業務・プロジェクト等を明示して、学生のスキルを活用して社員に対する活性化を促す	採用を意識し学生のスキルを見極める	仕事を通じて、学生に自社を含め、業界・仕事の理解を促進させる	従来の採用とは異なるタイプを見出す	将来の顧客となり得る学生に対して、自社に対する理解・イメージアップを促進させる	学生に就業体験の機会を提供することで、社会貢献する	採用に直結したものとして実施	その他
2016年調査	622	8.7	29.3	81.5	7.1	28.6	51.0	4.5	3.2
2015年調査	552	8.3	30.1	84.8	6.2	27.4	60.0	3.4	2.5
2014年調査	522	11.1	24.3	74.5	5.2	25.3	69.7		3.4

*【目的に対する成果】は、2014年調査より実施。

*「採用に直結したものとして実施」は、2015年調査より追加。

※データは無回答サンプルを除いて集計

5) 実施における苦労や懸念点

【当該年度実施】

2015年度のインターンシップを実施（予定も含む）する際の苦労や懸念点を見ると、「プログラムの企画・設計」（78.5%）「社内協力者の巻き込み」（74.5%）、「プログラムの実施」（45.4%）が多かった。そのうち、最も苦労・懸念した点は、「社内協力者の巻き込み」（38.0%）であった。

■インターンシップを実施する際の苦労や懸念点（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

（%）

	N	プログラムの企画・設計	社内協力者の巻き込み	プログラムの実施	参加者の募集・選考	運営上の事前手配	プログラム終了後のフォロー	事務手続き	その他	特になし
2015年度	722	78.5	74.5	45.4	44.6	38.4	32.1	23.3	0.8	3.7
2014年度	634	78.7	72.7	41.6	43.1	39.7	31.4	25.1	0.5	5.0
2013年度	566	70.5	75.1	36.0	29.0	38.5	21.4	24.9	0.7	6.7

■インターンシップを実施する際の最も苦労・懸念した点（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 単一回答）

（%）

	N	プログラムの企画・設計	社内協力者の巻き込み	プログラムの実施	参加者の募集・選考	運営上の事前手配	プログラム終了後のフォロー	事務手続き	その他
2015年度	642	32.9	38.0	6.1	11.1	3.1	6.5	1.6	0.8
2014年度	563	34.8	39.1	4.4	10.1	3.7	5.5	2.0	0.4
2013年度	493	31.2	42.2	6.5	7.1	4.1	4.1	4.7	0.2

6) 実施対象

【当該年度実施】

2015年度のインターンシップ実施対象は、前年度と同様に「大学3年生」が92.3%と突出して多く、次いで、大学院1年生の49.8%だった。

■インターンシップの実施対象（インターンシップ実施企業[実施予定を含む] / 複数回答）

（%）

	N	大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	大学院1年生	大学院2年生以上	日本の大学(院)在学中の外国人留学生	海外の大学(院)在学中の外国人学生	海外の大学(院)在学中の日本人留学生	既卒者
2015年度	659	26.7	32.3	92.3	29.9	49.8	23.1	23.8	11.1	11.7	6.8
2014年度	569	29.9	36.6	93.0	31.5	54.5	26.2	24.4	12.3	13.0	7.0
2013年度	542	15.5	27.5	89.1	17.0	34.9	11.4	12.7	4.8	4.8	2.4

※データは無回答サンプルを除いて集計

7) 受け入れ部門／プログラム内容／指導担当者

【当該年度実施】

2015年度について見る。

インターンシップの受け入れ部門を見ると、「人事部門」（56.1%）が最も多く、次いで「技術・設計部門」（27.7%）、「営業・販売部門」（25.7%）である。

インターンシップのプログラム内容を見ると、「通常業務でなく別の課題やプロジェクト」（53.1%）が最も多く、「職場や工場の見学」（43.1%）、「社員の補助的な業務の一部」（35.2%）と続く。

インターンシップの受け入れ学生に対して、直接指導する担当者を見ると、「一般社員クラス」（71.6%）が最も多く、「係長・主任・リーダークラス」（62.9%）と続く。

■ インターンシップ受け入れ部門（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	人事部門	人事部門以外のスタッフ系部門	技術・設計部門	営業・販売部門	製造部門	研究・開発部門	その他
2015年度	658	56.1	9.7	27.7	25.7	16.0	17.9	7.1
2014年度	569	54.7	14.1		29.5	18.6	27.1	12.0

*「技術・設計部門」は、2015年度より追加。

■ インターンシッププログラム内容（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	社員に同席あるいは同行	社員の基幹的な業務の一部	社員の補助的な業務の一部	通常業務でなく別の課題やプロジェクト	職場や工場の見学	アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部	その他
2015年度	661	33.4	21.6	35.2	53.1	43.1	9.1	3.3
2014年度	569	36.9	22.8	40.4	51.1	41.8	9.0	3.3
2013年度	541	37.9	18.9	49.5	39.9	43.1	7.9	2.2

■ インターンシップ受け入れ学生を直接指導する担当者（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答）

（%）

	N	一般社員クラス	係長・主任・リーダークラス	課長・課長と同等クラス	部長・部長と同等クラス	役員・役員と同等クラス以上	その他
2015年度	661	71.6	62.9	45.7	16.2	2.7	1.4
2014年度	571	72.2	63.2	43.8	16.1	4.2	1.6

8) 参加者への評価等のフィードバック状況

【当該年度実施】

2015年度のインターンシップ参加者に対しての、評価等のフィードバック状況は、「学生にのみ直接している」（33.4%）が最も多く、前年度の30.0%より3.4ポイント増加した。「特にしていない」は26.9%で、前年度の20.9%よりも6.0ポイント増加した。

■ インターンシップ参加者への評価等のフィードバック状況（インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／単一回答）

（%）

	N	学生にのみ直接している	学生にはしてないが大学へしている	学生および大学の両方へしている	特にしていない
2015年度	655	33.4	16.6	23.1	26.9
2014年度	554	30.0	18.8	30.3	20.9
2013年度	538	18.6	28.6	24.5	28.3

※データは無回答サンプルを除いて集計

9) インターンシップ選考と採用選考基準の相違／選考方法

【当該年度実施】

2015年度のインターンシップ参加者の選考基準と採用選考の基準との相違を見ると、「全く同じ」であるのは27.5%で、「多少異なる」39.2%と「全く異なる」33.3%を合わせると、7割強が異なっている。
また、選考基準が異なっている場合、どちらが厳しいかを聞いたところ、「採用の方が厳しい」が71.3%で、「どちらかというど採用の方が厳しい」の22.3%を合わせると93.6%であり、採用選考の基準の方が厳しい状況である。

■インターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との相違(インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／単一回答)

		(%)		
	N	全く同じ	多少異なる	全く異なる
2015年度	600	27.5	39.2	33.3
2014年度	538	22.5	37.5	40.0

■インターンシップ参加者の選定基準と採用選考基準との比較(選考基準が異なる企業／単一回答)

		(%)						
	N	インターンシップの方が厳しい	どちらかというどインターンシップの方が厳しい	ほぼ同じ基準	どちらかというど採用の方が厳しい	採用の方が厳しい	インターンシップ・計	採用・計
2015年度	422	1.2	—	5.2	22.3	71.3	1.2	93.6
2014年度	399	1.0	1.8	2.5	18.3	76.4	2.8	94.7

2015年度のインターンシップ参加者の選考方法は、「書類」選考が最も多く45.7%で、「先着順や抽選」(25.8%)が続く一方で、「選考はしていない」が35.6%となっている。
従業員規模別に見ると、規模が小さくなるにつれて、「選考はしていない」が多くなり、特に、300人未満企業では半数以上となっている。一方、5000人以上企業では、「書類」選考の59.2%が最も多く、続いて「面接」が36.6%で、「選考はしていない」のは14.1%である。

■インターンシップ参加者の選考方法(インターンシップ実施企業[実施予定を含む]／複数回答)

		(%)						
	N	書類	適性試験	筆記試験	面接	先着順や抽選	選考はしていない	その他
2015年度	652	45.7	7.5	3.8	17.3	25.8	35.6	5.2
300人未満	104	26.0	5.8	2.9	13.5	22.1	51.9	4.8
300~999人	241	44.0	5.8	4.6	14.9	24.5	41.1	4.6
1000~4999人	236	52.1	6.8	3.0	15.7	27.1	29.2	4.7
5000人以上	71	59.2	18.3	5.6	36.6	31.0	14.1	9.9
2014年度	562	56.6	5.2	2.5	21.7	25.8		22.4

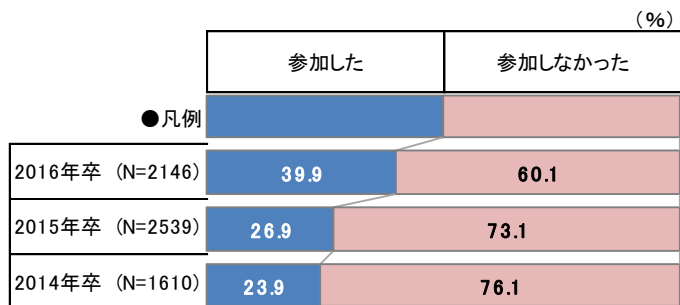
*「選考はしていない」は、2015年度より追加。

※データは無回答サンプルを除いて集計

1) 参加状況/参加社数

2016年卒学生のうち、インターンシップ参加者は39.9%と、2015年卒よりも13.0ポイント増加した。インターンシップ参加社数は1社が48.9%と最も多く、次いで2社の24.8%であった。

■インターンシップへの参加状況(学生全体/単一回答)



□学校種および文理、地域別のインターンシップへの参加状況

		2014年卒		2015年卒		2016年卒	
		N	参加率 (%)	N	参加率 (%)	N	参加率 (%)
大学生	全体	1254	23.0	2185	27.0	1822	39.4
	文系	843	22.8	1458	28.9	1216	40.5
	理系	411	23.5	727	23.2	606	37.0
	関東	588	23.9	986	29.6	817	42.8
	中部	139	23.9	284	25.2	252	36.7
	近畿	274	20.0	448	26.2	358	36.6
	その他地域・計	254	23.6	466	23.2	394	36.4
大学院生	全体	356	30.6	354	26.0	324	44.1
	文系	51	19.6	56	25.0	48	25.0
	理系	305	32.5	298	26.2	276	47.5
	関東	120	29.2	156	30.8	124	42.7
	中部	53	35.8	44	11.4	59	45.8
	近畿	77	32.5	78	29.5	59	50.8
	その他地域・計	106	28.3	76	21.1	82	40.2

■インターンシップの参加社数の内訳(インターンシップ参加者/単一回答)

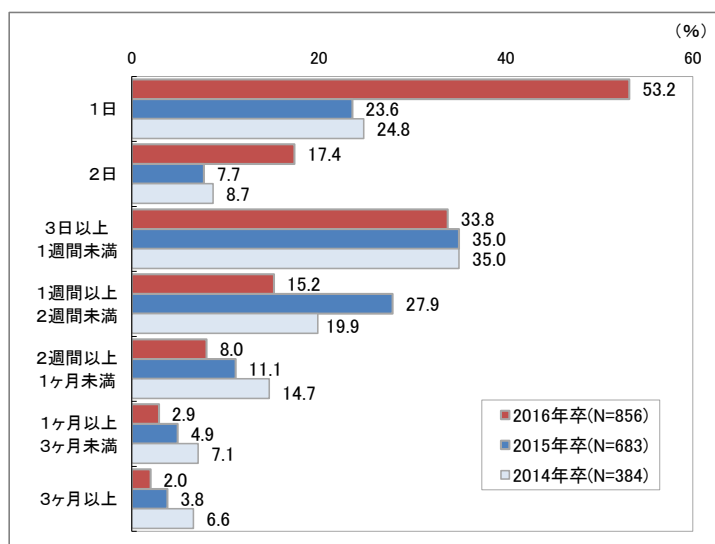
		N	(%)						平均社数
			1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	
全体	2016年卒	856	48.9	24.8	10.8	3.4	6.2	5.8	2.32社
	2015年卒	683	67.8	18.6	8.4	1.4	2.2	1.5	1.63社
	2014年卒	384	69.2	15.6	9.7	1.2	2.1	2.0	1.64社
関東	2016年卒	405	42.6	25.8	13.1	4.1	7.3	7.2	2.60社
	2015年卒	340	60.9	21.0	11.4	1.6	2.9	2.2	1.82社
	2014年卒	178	59.3	18.5	14.9	2.0	3.0	2.2	1.84社
中部	2016年卒	117	62.3	20.7	7.7	2.2	6.7	0.4	1.79社
	2015年卒	78	71.4	18.3	4.7	2.1	2.5	1.1	1.59社
	2014年卒	47	81.5	15.1	—	—	—	3.4	1.35社
近畿	2016年卒	160	50.0	20.1	12.2	4.4	6.6	6.8	2.42社
	2015年卒	140	72.0	18.1	6.2	1.1	1.3	1.3	1.49社
	2014年卒	75	67.9	15.5	9.9	1.5	2.2	3.0	1.82社
その他	2016年卒	175	53.7	29.8	6.4	1.9	3.0	5.2	1.95社
	2015年卒	125	79.6	13.2	5.1	0.9	1.1	—	1.31社
	2014年卒	84	84.5	9.9	4.0	—	1.6	—	1.24社

2) 参加期間／プログラム内容

インターンシップ参加期間は、「1日」(53.2%)が最も多く、次いで「3日以上1週間未満」(33.8%)であった。

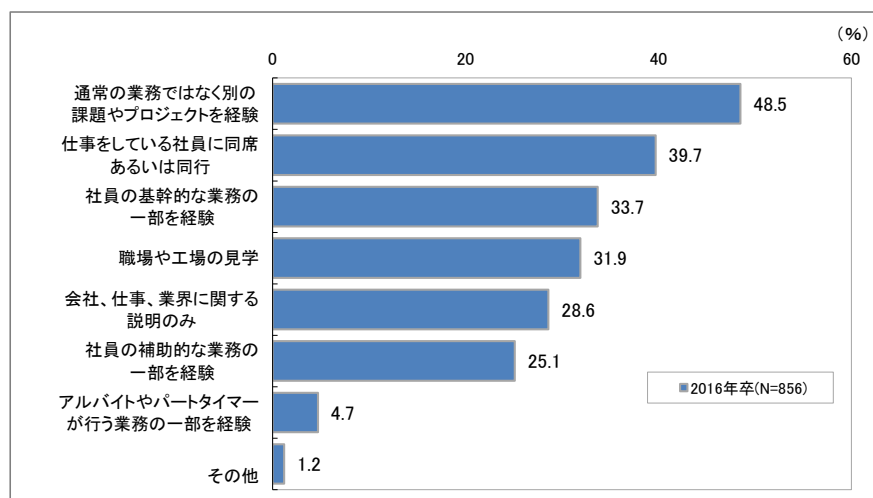
参加したインターンシップのプログラム内容を見ると、「通常の業務ではなく、別の課題やプロジェクトを経験」(48.5%)が最も多く、次いで「仕事をしている社員に同席あるいは同行」(39.7%)であった。

■インターンシップの参加期間 (インターンシップ参加者／複数回答)



		参加期間 (%)							
		N	1日	2日	3日以上1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上1ヶ月未満	1ヶ月以上3ヶ月未満	3ヶ月以上
全体	2016年卒	856	53.2	17.4	33.8	15.2	8.0	2.9	2.0
	2015年卒	683	23.6	7.7	35.0	27.9	11.1	4.9	3.8
	2014年卒	384	24.8	8.7	35.0	19.9	14.7	7.1	6.6
関東	2016年卒	405	60.3	17.0	34.9	15.0	8.5	3.1	1.6
	2015年卒	340	26.7	9.2	33.8	23.3	13.3	6.0	5.6
	2014年卒	178	31.1	12.8	37.0	19.8	10.4	3.4	8.4
中部	2016年卒	117	41.9	16.2	31.3	16.6	8.9	0.6	3.8
	2015年卒	78	25.5	6.3	28.9	35.7	5.4	4.4	2.2
	2014年卒	47	22.6	3.4	31.2	14.7	23.9	8.9	9.3
近畿	2016年卒	160	52.8	23.3	33.8	13.6	9.8	3.8	0.5
	2015年卒	140	20.5	9.6	33.7	31.5	12.2	3.1	2.6
	2014年卒	75	23.9	7.4	37.1	17.1	17.7	6.5	7.7
その他	2016年卒	175	44.5	13.7	33.0	16.0	4.7	3.2	3.0
	2015年卒	125	17.6	2.6	43.7	31.6	7.4	4.0	1.1
	2014年卒	84	13.6	3.9	31.0	25.3	15.7	14.5	—

■参加したインターンシップのプログラム内容 (インターンシップ参加者／複数回答)



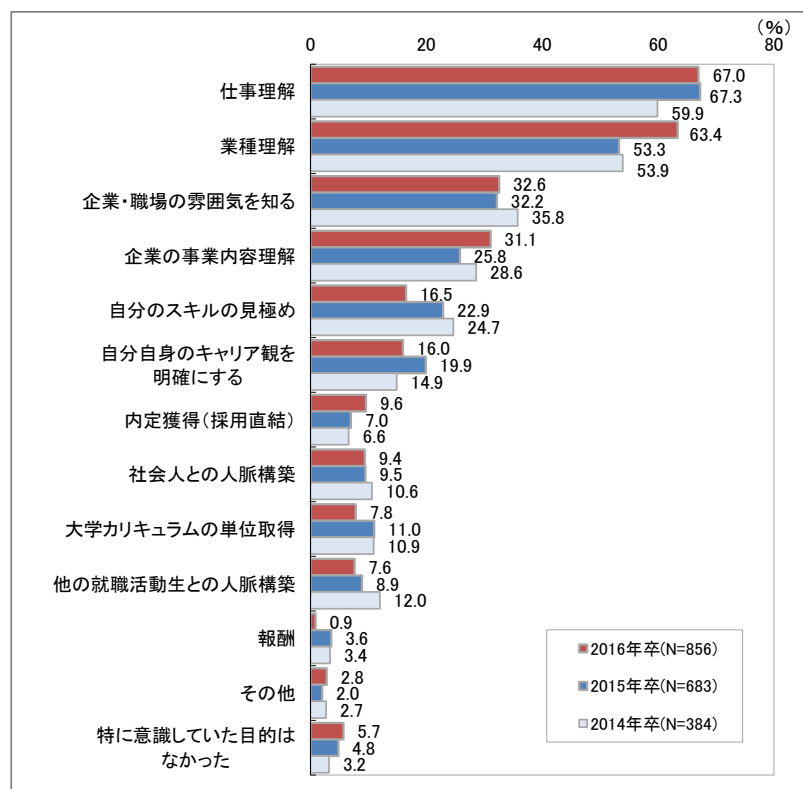
	N	プログラム内容 (%)								
		通常の業務ではなく別の課題やプロジェクトを経験	仕事をしている社員に同席あるいは同行	社員の基幹的な業務の一部を経験	職場や工場の見学	会社、仕事、業界に関する説明のみ	社員の補助的な業務の一部を経験	アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部を経験	その他	
全体	856	48.5	39.7	33.7	31.9	28.6	25.1	4.7	1.2	
地域	関東	405	52.3	37.0	33.5	25.4	27.4	23.8	5.1	1.2
	中部	117	39.5	41.8	39.6	42.0	26.2	26.3	0.6	0.6
	近畿	160	56.1	35.2	28.2	35.2	32.3	23.2	6.1	2.0
	その他地域・計	175	39.1	49.0	35.3	37.2	29.5	28.8	5.3	0.9

3) 参加目的/インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと

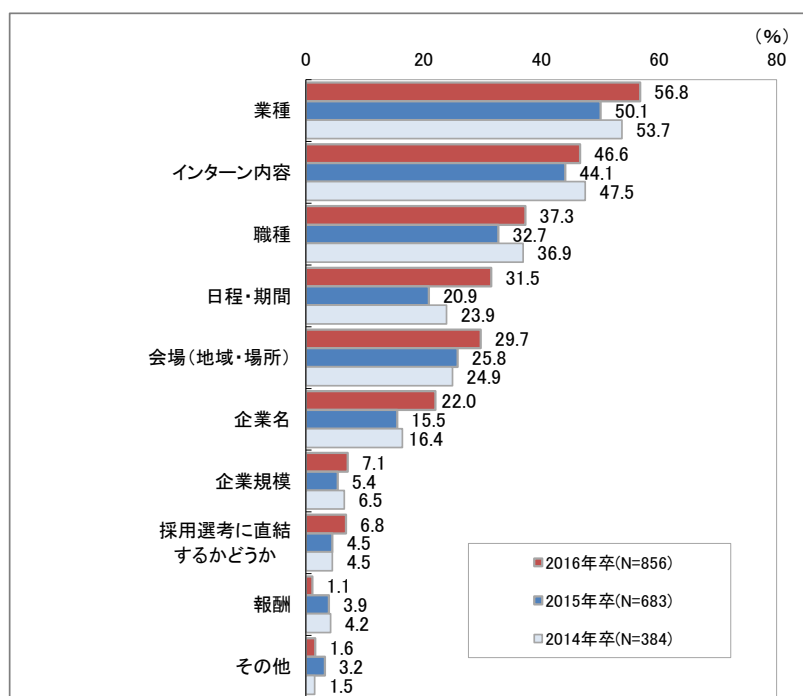
インターンシップ参加目的を見ると、「仕事理解」(67.0%)、「業種理解」(63.4%)、「企業・職場の雰囲気を知る」(32.6%)の順であった。

インターンシップ先を選ぶ際に重視したことを見ると、「業種」(56.8%)が最も多く、「インターン内容」(46.6%)、「職種」(37.3%)の順であった。

■インターンシップの参加目的 (インターンシップ参加者/複数回答)



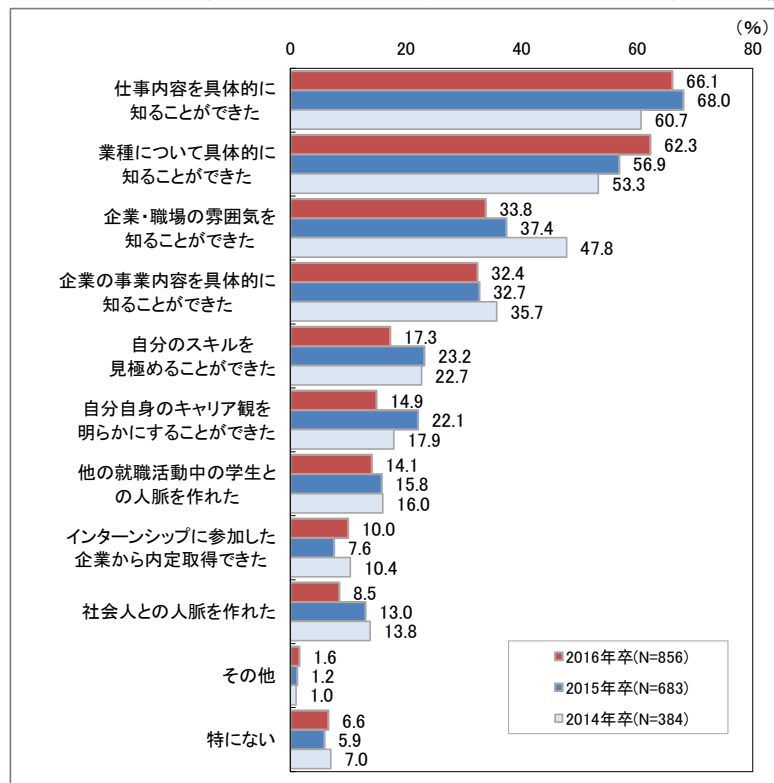
■インターンシップ先を選ぶ際に重視したこと (インターンシップ参加者/複数回答)



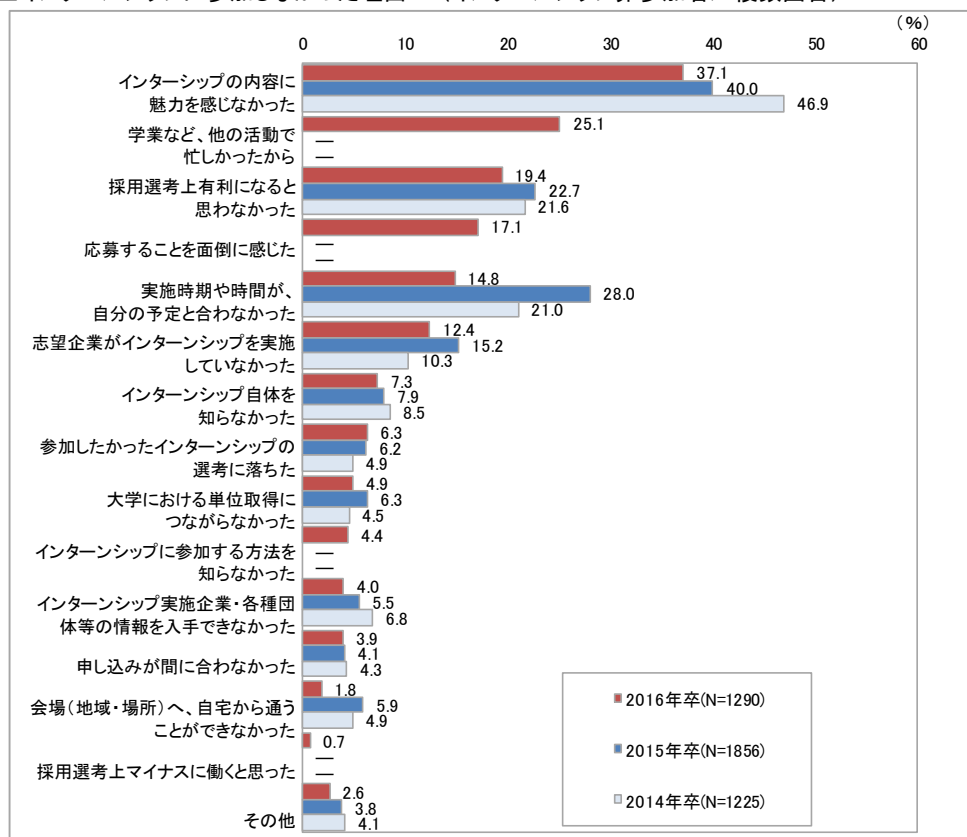
4) 参加してよかったと思う点/参加しなかった理由

インターンシップに参加してよかったと思う点は、「仕事内容を具体的に知ることができた」(66.1%)が最も多く、「業種について具体的に知ることができた」(62.3%)、「企業・職場の雰囲気を知ることができた」(33.8%)の順であった。インターンシップに参加しなかった学生の理由を見ると、「インターンシップの内容に魅力を感じなかった」(37.1%)、「学業など、他の活動で忙しかったから」(25.1%)、「採用選考上有利になると思わなかった」(19.4%)の順であった。

■インターンシップに参加してよかったと思う点 (インターンシップ参加者/複数回答)



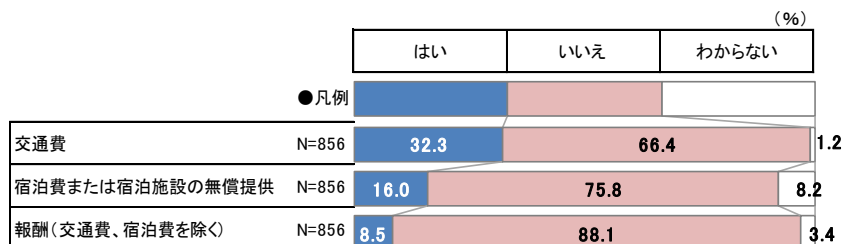
■インターンシップに参加しなかった理由 (インターンシップ非参加者/複数回答)



5) インターンシップでの報酬等の支給状況

参加したインターンシップでの、交通費などの支給状況を見ると、交通費は32.3%だが、宿泊費または宿泊施設の無償提供は16.0%、報酬（交通費、宿泊費を除く）は8.5%であった。

■ インターンシップでの報酬等の支給状況（インターンシップ参加者／それぞれ単一回答）



□ 地域別のインターンシップでの報酬等の支給状況

(%)

		交通費					
		2014年卒		2015年卒		2016年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		384	34.1	683	37.1	856	32.3
地域	関東	178	35.6	340	44.3	405	34.8
	中部	47	30.6	78	22.4	117	32.5
	近畿	75	27.8	140	28.5	160	32.9
	その他地域・計	84	38.8	125	36.5	175	26.1

		宿泊費または宿泊施設の無償提供					
		2014年卒		2015年卒		2016年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		384	14.7	683	15.7	856	16.0
地域	関東	178	11.2	340	16.9	405	12.7
	中部	47	18.4	78	11.3	117	16.3
	近畿	75	10.1	140	11.3	160	20.7
	その他地域・計	84	24.2	125	19.7	175	19.1

		報酬（交通費、宿泊費を除く）					
		2014年卒		2015年卒		2016年卒	
		N	支給率	N	支給率	N	支給率
全体		384	17.1	683	15.9	856	8.5
地域	関東	178	19.9	340	19.3	405	8.5
	中部	47	19.5	78	7.2	117	6.6
	近畿	75	12.7	140	11.8	160	9.9
	その他地域・計	84	13.7	125	16.5	175	8.4

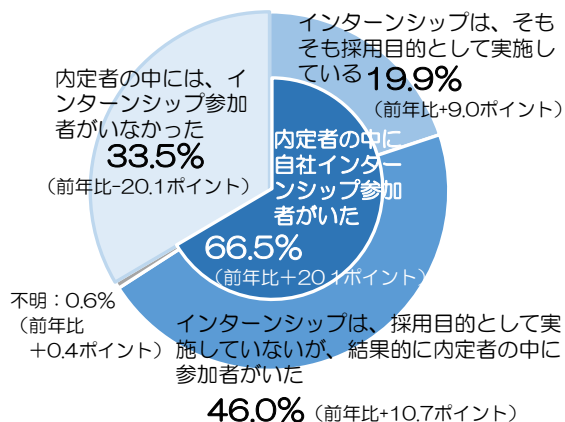
1) 内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップ参加企業への入社予定状況

企業の2016年卒の内定者の中に、インターンシップ参加者がいたかどうかについて、参加者がいたのは66.5%で、前年よりも20.1ポイント増加した。また、そもそも採用目的として実施しているのは19.9%と、前年よりも9.0ポイント増加した。

インターンシップ参加学生の20.4%が、インターンシップ参加企業に入社予定である。参加企業ではないが、同業種の企業に入社予定は24.9%で、合わせて45.3%がインターンシップに参加した業種へ、入社予定となった。

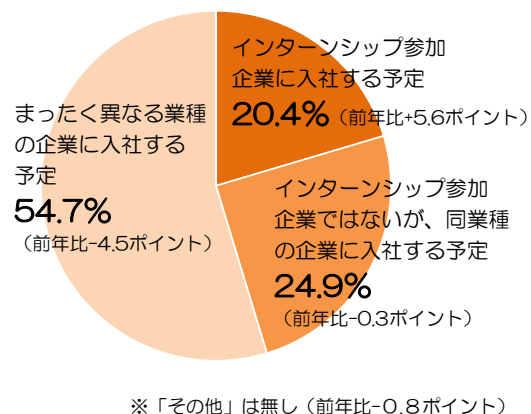
<企業>

■内定者のインターンシップ参加状況
(インターンシップ実施企業/単一回答)



<学生>

■インターンシップ参加企業への入社予定状況
(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)



■企業)内定者のインターンシップ参加状況 (インターンシップ実施企業/単一回答)

	参加状況 (%)	
	いた	いない
●凡例		
2016年卒 (N=648)	66.5	33.5
2015年卒 (N=552)	46.4	53.6
2014年卒 (N=528)	41.3	58.7

■学生)インターンシップ参加企業への入社予定状況(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)

	入社予定状況 (%)			
	インターンシップ参加企業に入社する予定	インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定	まったく異なる業種の企業に入社する予定	その他
●凡例				
2016年卒 N=778	20.4	24.9	54.7	0.0
2015年卒 N=596	14.8	25.2	59.2	0.8
2014年卒 N=335	16.2	25.5	58.2	0.2

1) 内定者のインターンシップ参加状況、インターンシップ参加企業への入社予定状況

■企業)内定者のインターンシップ参加状況 (インターンシップ実施企業/単一回答)

(%)

		2014年卒		2015年卒		2016年卒	
		N	存在率	N	存在率	N	存在率
全体		528	41.3	552	46.4	648	66.5
従業員規模	300人未満	85	18.8	67	22.4	102	43.1
	300~999人	146	37.0	186	36.0	240	58.8
	1000~4999人	172	46.5	199	55.3	238	77.3
	5000人以上	63	73.0	90	67.8	68	91.2
業種	建設業	42	50.0	41	51.2	60	60.0
	製造業	171	35.1	192	42.2	219	61.2
	流通業	97	41.2	96	42.7	130	67.7
	金融業	68	54.4	76	52.6	75	78.7
	サービス・情報業	121	43.0	138	50.7	164	69.5
地域	関東	201	46.8	237	51.9	278	70.5
	中部	115	33.9	111	43.2	125	64.0
	近畿	83	50.6	79	49.4	95	71.6
	その他地域・計	129	33.3	115	37.4	150	58.0

■学生)インターンシップ参加企業への入社予定状況(インターンシップ参加者・就職先確定者/単一回答)

(%)

		N	インターンシップ参加企業に入社する予定	インターンシップ参加企業ではないが、同業種の企業に入社する予定	まったく異なる業種の企業に入社する予定	その他
全体	2016年卒	778	20.4	24.9	54.7	—
	2015年卒	596	14.8	25.2	59.2	0.8
	2014年卒	335	16.2	25.5	58.2	0.2
関東	2016年卒	370	19.4	23.1	57.5	—
	2015年卒	295	14.9	27.3	57.0	0.8
	2014年卒	154	16.4	24.3	59.3	—
中部	2016年卒	111	27.3	23.5	49.1	—
	2015年卒	73	20.4	15.1	64.5	—
	2014年卒	44	23.4	33.5	43.0	—
近畿	2016年卒	144	18.3	22.2	59.4	—
	2015年卒	115	9.0	25.7	65.3	—
	2014年卒	70	13.8	20.4	65.0	0.8
その他計	2016年卒	154	19.7	32.8	47.5	—
	2015年卒	113	16.7	26.0	54.9	2.3
	2014年卒	68	13.4	28.2	58.4	—